

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～ソーシャルワーキング®を通じて、日本中に「共創」の仕組みを届けます～
イノベーションファンド 25Next による
株式会社 ATOMica への投資実行について

池田泉州キャピタル株式会社（社長 入江 努）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 阪口 広一）等が出資する「関西イノベーションネットワーク 2号投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25Next）」は、2025年12月19日付で、株式会社 ATOMica（本社：宮崎県宮崎市、代表取締役 Co-CEO 嶋田 瑞生・代表取締役 Co-CEO 南原 一輝）に対し、投資を実行いたしました。

イノベーションファンド 25Next は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、「SDGs が達成される社会」や「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

株式会社 ATOMica は、人と人を結ぶプロフェッショナル「コミュニティマネージャー」の存在を核とした多種多様な場とコミュニティの企画・運営ノウハウ及び自社開発システム「knotPLACE」の活用等を通じて、人と人・企業と人・地域と社会とを結びつけることで「新しい価値」を生み出す仕組みづくりに取り組んでいます。ソーシャルワーキング®（※1）を掲げる同社は、現在 32 都道府県において、60 拠点以上のワーキング施設の企画・運営をはじめとした事業展開を進めています。出会い・ビジネス機会が少ない地方部においても、当社の取組によって新たなコミュニティが形成され、ビジネス機会や関係人口の創出等を通じた地域活性化への寄与が期待されます。

当行グループはイノベーションファンド 25Next を通じて、SDGs⑧「働きがいも経済成長も」、⑩「住み続けられるまちづくりを」の実現に貢献する株式会社 ATOMica を支援いたします。

※1：ソーシャルワーキング®とは、あらゆる願いに寄り添い、人と人を結び続けるための同社の事業名称。単なる場としてのワーキングスペースの枠を超え、出会いや交流、共創を持続的に生み出すためのコミュニティづくり、街づくりをおこなっている。

【同社が運営するイベントイメージ（左図） / コミュニティマネージャーの業務風景（右図）】



【投資先概要】

社名	株式会社 ATOMica
代表取締役 Co-CEO	嶋田 瑞生（しまだ みずき）・南原 一輝（みなみはら かずき）
所在地	宮崎県宮崎市橘通西 3-10-32 宮崎ナナイロ東館 8 階
設立	2019 年 4 月
事業内容	コワーキングスペースの立ち上げ・運営支援、産学協同プロジェクトの企画・運営、コミュニティを通じた DX/CX 領域の人材育成とマッチングをはじめとするソーシャルコワーキング®事業
URL	https://atomica.co.jp/
ミッション	頼り頼られる関係性を増やす。
SDGs の実現	 

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合 (愛称：イノベーションファンド 25Next)
ファンド総額	29.3 億円
有限責任組合員(LP)	岩谷ベンチャーキャピタル合同会社、公益財団法人大阪産業局、大阪信用保証協会、関西テレビ放送株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社ダスキン、南海電気鉄道株式会社、日本生命保険相互会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、三井住友信託銀行株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社ユニオン、株式会社読売新聞大阪本社、ロート製薬株式会社、株式会社池田泉州銀行
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が掲げた「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2023 年 5 月 30 日
存続期間	10 年（最大 3 年まで延長可）
連携機関	大阪府、大阪市、堺市、大阪商工会議所、公益財団法人大阪産業局、地方独立行政法人大阪産業技術研究所、株式会社池田泉州銀行 (2023 年 5 月 30 日付『関西イノベーションネットワーク 2 号投資事業有限責任組合』を通じた連携に関する協定書』を締結)